

植生マットと他工法との併用事例

日新産業の植生マットは、様々な法面保護工との併用が可能です。

吹付法枠工との併用

ガンリョクマット 6型 枠内 1.3m × 1.3m

石川県 道路改良事業 地質：軟岩（硬質）
勾配：約 1:0.5



イースターマット L-1 型 枠内 1.2m × 1.2m

北海道 治山事業



施工直後



施工後 9 ヶ月

イースターマット L-2 型 枠内 1.2m × 0.8m

和歌山県 道路改良事業



施工直後



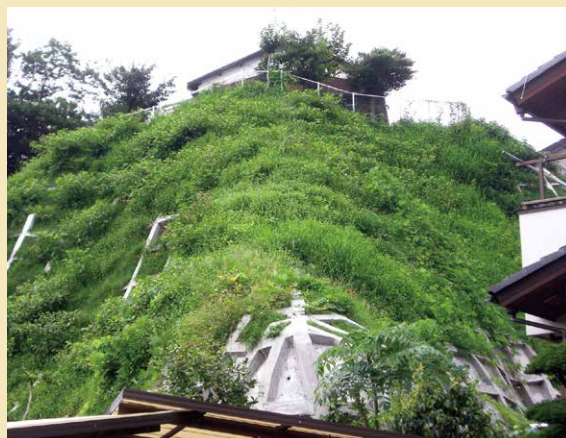
施工後 3 年

ガンリョクマット 5 型 枠内 1.0m × 1.0m

神奈川県 急傾斜地対策事業



施工前



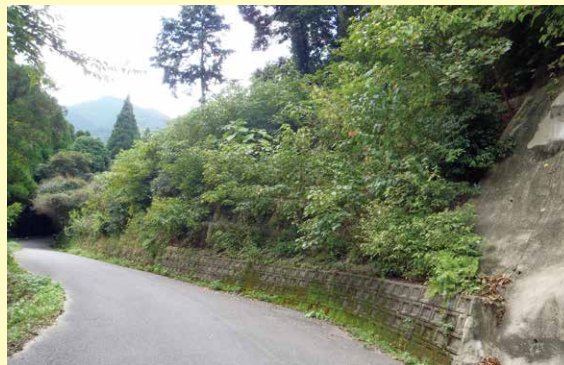
施工後 5 ヶ月

イースターマット L-1 型 枠内 1.0m × 1.0m

福岡県 道路改良事業



施工直後



施工後 2 年 6 ヶ月

イースターマット L-1 型 枠内 1.15m × 1.15m

大阪府 治山事業



施工直後



施工後 2 年

キッコウ イースターマット L-2 型

岐阜県 治山事業



施工直後



施工後 3 年 1 ヶ月

【適用にあたっての留意事項】

※植物を良好に生育させるためには、マットと地山を密着させることが大切です。そのため、施工時の安全性確保等の特別な理由がない場合には、ラス金網張工を除外して設計して下さい。

※ラス金網の上からの施工も可能ですが、その場合にはラス金網が地山に密着していることが前提です。凹凸等によりラス金網が浮いた箇所については、固定具の増し打ちや金網の切断等を行い、後から施工する植生マットの密着性を高めるようにして下さい。

プレキャスト枠工との併用

ガンリョクマット 5 型

宮崎県 急傾斜地対策事業



施工直後



施工後 3 ヶ月

各種受圧板との併用

ガンリョクマット 5 型

長野県 道路改良事業



施工直後



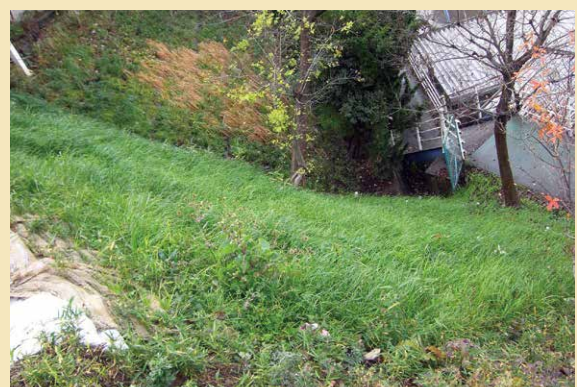
施工後 3 ヶ月

ガンリョクマット 5A 型

神奈川県 急傾斜地対策事業



施工後 1 ヶ月



施工後 4 ヶ月

高強度ネットとの併用

ガンリョクマット 5 型

福井県 ダム事業



施工直後



施工後 7 ヶ月

補強土植生法砕工との併用

キッコウ イースターマット M-2型

長野県 道路改良事業 上信越高原国立公園内



補強土植生法砕工 施工直後



植生マット 施工直後



施工後 2 年 8 ヶ月

連続繊維複合補強工との併用

イースターエコマット L-2型

群馬県 治山事業 妙義荒船佐久高原国定公園内



連続繊維複合補強工 施工直後



植生マット 施工直後



施工後 6 年 7 ヶ月